

会 議 録

附属機関又は 会議体の名称		第3回豊島区民間保育所事業者選定審査会
事務局（担当課）		子ども家庭部 保育課
開催日時		令和3年8月2日（月）午後1時00分～午後5時00分
開催場所		豊島区役所本庁舎8階 807・808会議室
議 題		<p>1 開 会</p> <p>2 議 事</p> <p>（1）池袋第三保育園事業者選定の第二次審査</p> <p>① 池袋第三保育園保護者からの要望に関する説明</p> <p>② 既存運営施設の視察結果等について</p> <p>③ プレゼンテーション審査及びヒアリング</p> <p>④ 第二次審査審議</p> <p>⑤ 評定及び審査講評</p> <p>（2）池袋第三保育園事業者選定の決定</p> <p>① 答申案の作成</p> <p>② 区長への答申伝達</p> <p>3 閉 会</p>
公開の 可否	会 議	<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 （非公開・一部非公開の場合は、その理由） 豊島区行政情報公開条例第7条第5号の規定による。
	会 議 録	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部非公開 （非公開・一部非公開の場合は、その理由） 公正な選定審査に支障を及ぼす恐れがあるため、議事における発言者は非公開とする。
出席者	委 員	箕輪 潤子（武蔵野大学准教授）、善本 眞弓（東京成徳大学教授）、 奥島 正信（政策経営部長）、末吉 正伸（施設整備担当部長）、澤 田 健（子ども家庭部長）
	事 務 局	保育政策担当課長、保育課長、保育計画グループ係長、公立運営グル ープ係長、総務総括グループ係長、保育計画グループ主任

※発言者は委員を【ア】～【オ】、事務局を【事】と表記する。

1 開会

2 議事

(1) 池袋第三保育園事業者選定の第二次審査

- ① 池袋第三保育園保護者からの要望に関する説明
配布資料に基づいて説明。
・資料は昨年度の要望に今回あった内容を追加。
- ② 既存運営施設の視察結果等について
配布資料に基づいて説明。
・資料は各委員の視察記録を集約して記載。

<専門審査意見開陳>

【イ】 どの園も民営化への強い気持ちを非常に感じた。しかし、保育者の質の観点については、3園ともに改善の余地があると感じた。

<A 法人>

- ・ 視察先の園は民営化園であった。また、しっかりとした保育理念を持った園長であったため、このような方に引継ぎをしていただけると安心できると感じた。

<B 法人>

- ・ 熱意は感じたが、子どもの目線になってみると、保育環境として厳しいものがあり改善が必要と感じた。

<C 法人>

- ・ 公立園の民営化のノウハウを非常に持っている。
- ・ 多少改善すべきところもあるが、保育環境は非常によく考えられている。
- ・ 子どもたちは比較的落ち着いて活動しており、多くの保育者は必要に応じて子どもに適切に関わっていた。
- ・ 園長経験は浅いようだが、保育理念がしっかり持たれていた。

【ア】 どの園も民営化への強い熱意を感じるとともに、池袋第三保育園の理念と保育をきちんと考えて踏襲したいという意向が感じられた。法人それぞれの考え方は全く異なるが、池袋第三保育園の保育を学んだ上で、引き継いでいただけるものと考えている。しかし、法人の特徴がかなり異なることから、選考において十分に検討する必要がある。

<A 法人>

- ・ 視察先は、民営化園であり、民営化後のイメージがしやすいと思った。
- ・ 環境面で、物の取り扱いや物の選択の仕方・置き方に改善の余地がある。
- ・ 海外の人と話をしたり、SDGs の取組という点では、区が取り組む SDGs や多文化に関連づけられている。

- ・ 保育の内容という観点からみると、本当に子どもの発達および興味・関心、必要な経験としてよく考えられているか疑問がある。
- ・ 視察時には、1歳児が夏祭りに参加し、お化け屋敷を怖がっている姿が見られた。発達に応じた経験、年齢にふさわしい経験について考慮してほしいと感じた。

<B 法人>

- ・ 視察で一番気になったのはプライベートゾーンである。視察者の目の前で子どもの着替えが行われる場面があった。これは、区の保育の質のガイドラインに反する行為である。園長にプール時の着替えや排せつの状況について直接質問したが、プライベートゾーンの考え方が全く無いように感じたため、後の質問で再確認したい。
- ・ 音に関する環境もよくない。子どもたちは慣れてしまっているようだが、3・4・5歳が仕切りのない一つの保育室にいるところで、3歳は昼食の準備、4歳は絵本を読み、その横では5歳児の縄跳びや椅子取りゲームが行われていた。保育者は、活動をきちんと分けて考えているかもしれないが、そのような環境の中で育つことについて疑問を感じた。
- ・ 特に低年齢児の保育室の環境について、遊びと食事の場を分けていることはわかるが、食事の準備をしているわけでもないのに、狭い遊びの空間で遊んでいることが気になった。
- ・ 視察時だけでなく、日常の保育場面映像データをみても、ブロックだけで遊んでいるように見え、低年齢児の遊びの経験としては乏しいと感じた。

<C 法人>

- ・ 園庭や室内環境のものが充実していた。そのなかで、きちんとした理念を持った保育が行われていたように伺えた。
- ・ 衛生や安全の管理に関しては、課題があるところがいくつか見受けられた。
- ・ 視察時及び保育場面の映像データから、0歳児のクラスの保育者の表情が乏しいように感じた。0歳児クラスの子どもが保育者に何かを訴えているような場面においても応答がなかった。これは、保育所保育指針の「受容的で応答的な保育」状況とはいえず、必要以上に声を掛けないということでもないと感じた。特に低年齢児に対してこの対応はどのように考えているのか気になるところである。

③ プレゼンテーション審査及びヒアリング

<A 法人>事業者配布資料に基づいて説明。

<ヒアリング> 【A】 = A 法人

【ウ】現在の池袋第三保育園のどんなことをどのように引き継いでいきたいか。

【A】まずは話を聞き、大事なことを胸に受け止めて、保育所保育指針に基づいた保育をしていく。

【エ】昨年度の採用数と新規職員を採用するポイントとして何を重視しているのか。

【A】昨年度の中途採用が50数名。本年度入社の新卒は18名。採用のポイントは、本人が持つ方が我々のグループの理念・保育理念に共感できるかということである。

【オ】引継ぎに関して、民間では採算が合わなくて撤退するという事例があるが、保育事業の

安定性の確保という観点についてお聞きしたい。

【A】保育事業は始めたら、20年、30年と長期継続して行うべきと考えている。各保育園の評価ではなく、グループ全体で行っており、グループ全体で支えあい助け合うという基本の考えのもとに運営を行っている。

【イ】既存園20園中、零歳児の保育を行っているのはいくつか。

【A】20園。

【イ】医療的ケア児の受入れについてどのように考えているのか伺いたい。

【A】基本的に20園とも受入のスタンスである。しかし、既に医療的ケア児がいる場合やその園の環境によって、個別相談により対応している。

【イ】園長候補は決まっているのか。

【A】決まっている。

【ア】既存園視察時の夏祭りでは、1歳児が参加していたがその意図は何か。

【A】コロナ禍という環境であり、1日だけのお祭りとはできなかったため、3日間開催することとし、5歳と1歳が夏祭り、ほかの年齢は通常保育、翌日は2歳と4歳児が夏祭りとしてローテーションで実施した結果である。

【ア】引継ぎに当たって、このような低年齢層の行事への参加についてどう考えるか。

【A】異年齢交流を図ること、それぞれの歳児で何をしているかを知ってもらうなどの意図をもって参加させている。無理に参加させるようなことはしない。

【ア】既存園の保育環境として、園長が思う工夫したい環境や保育者の課題について伺いたい。

【A】児童がホッとできるようなスペースを作るよう工夫したいと考えている。職員の課題は、理念は絶え間なくOJTなどで伝えていくが、質の維持や向上が課題である。そこを繰り返して、大切なところをきちんと押さえてその上に一人一人の先生たちが得意なことが活かしてあげられたらいい。

【ア】法人としてバックアップできることは何か。

【A】建物的な制約については工夫してほしいが、費用を掛ければどうにかなる部分については対応したい。また、職員については、キャリアの浅い者やベテランのベクトルを合わせると同時にそれを引き上げることが重要である。オンライン研修の増加や保育の見える化プロジェクトを進めている。このプロジェクトは、3か年計画により、全園長が保育方針・理念をかみ砕いて全員が同じ言葉で語れるようにする目的で、1年目は共通認識を図る冊子を作成し、次年度以降はそれを使って研修を行うなどブラッシュアップを図り、ベクトル合わせをするというものである。

< B法人 > 事業者配布資料に基づいて説明。

< ヒアリング > 【B】 = B法人

【ウ】池袋第三保育園のサービス内容として何を引継ぎ、どのようにして今以上に高めたいと考えているのか具体策を伺いたい。

【B】今いる保育士との人間関係の構築を行い、ヒアリングをして、パパサロンや様々な行事など今できる全ての行事を引き継ぐとともに、先ほど申した新たな提案についても取り組

みたい。

- 【エ】既採用率について伺いたい。全体で31名中、新規採用6名とあるが、それ以外の職員はどのようにまかなうのか。また、新規園では新卒は採用しないという話だが、民営化後の職員の経験年数はどの程度を想定しているのか。
- 【B】人事異動で対応する予定である。去年の退職者数が少なかったため、他園の配置人数が過剰な状況である。また、民営化後の職員の経験年数については、園長が12年で2園の園長経験があり、主任は20年以上、クラス担当は8年前後の配置を想定している。
- 【オ】経営面で公認会計士の分析の結果、「短期安定性・中期持続性とも良好とは言えない。借入割合は改善しているが、投資の増加により、結果として借入額自体が増加しているため、安全性が良好とは言えない。」とあるがこれに対するコメントはあるか。
- 【B】今まで新規開設を多くしてきたため、借入が増加している。去年からほぼ新規開設を止めている。今後数年間は新規開設を1、2園に絞り、財務状況を改善し、5年後には借入の返還がほぼ完了するという計画である。
- 【イ】看護師の配置はあるのか。
- 【B】配置する予定である。
- 【イ】医療的ケア児として対象児がいた場合の受入れについて伺いたい。
- 【B】対象児がいる場合、積極的に受け入れも行う。
- 【イ】視察した貴園のオープンスペースについて、園長が感じている課題について伺いたい。
- 【B】課題は、朝や終わりの会や午睡の際に、隣のクラスの声が時間差で聞こえてしまう点である。このため、ほぼ毎週、時間の使い方について職員同士で検討している。
- 【イ】園長は保育の質の向上をどのように考えているのか。
- 【B】職員によって苦手分野は異なるが、可能な範囲で努力させ、互いにギブアンドテイクで自分に無いものを補いあう環境づくりに心掛けており、研修以外でのレベルアップを図っている。
- 【ア】視察の際に気になった点について伺いたい。視察時に、外部の人がいる前で、子どもたちが着替えている場面があったが、子どもの羞恥心への配慮という観点について園長はどう考えているか。
- 【B】通常であれば、外部の人がいる前で子どもを着替えさせることはない。今回は、保育関係者の視察という前提で、普段通りの保育状況を見ていただくこととしたためである。
- 【ア】プレゼン資料にある「保育園の強み」として、「教育・養護」となっている順番に意図があるのか。また、先ほどのプレゼンでは教育的な側面が強いと感じたが、保育所保育の基本として養護的な視点で大切にしていることは何か。
- 【B】資料については特段の意図はない。大切にしていることは、子どもたちがどれだけ普通に生活できるかという点である。プレゼンは、基本的な養護をしっかりと行う前提において、弊社の特徴を示させていただいたところである。
- 【ア】園庭がない場合の自然環境との関わりについて意識しているところを伺いたい。
- 【B】大田区の園では、山のそばにある公園や大きな神社に遊びに行っている。また、先日、各園の5歳児クラスを集めてキャンプに行き、ドジョウ釣りなどをしたところ。これ以外にも多々、四季折々の環境に親しんでもらうための取組を行っている。

【イ】現時点で行われている充実したプログラムなどの池袋第三保育園における導入方法について伺いたい。

【B】一律に同じことを導入するのではなく、各園に任されている。ただ、教育プログラムだけは一貫して同じであるが、徐々に取り入れていくのが望ましいと考えている。

<C法人>事業者配布資料に基づいて説明。

<ヒアリング> 【C】=C法人

【ウ】池袋第三保育園の理念をしっかりと引き継ぎ、更にサービス向上していただけるという理解で良いか。

【C】そのとおりで、池袋第三保育園の理念や保育内容を十分に継承し、保護者の理解を得ながら、法人の特色等を出していきたい。

【エ】保護者から経験豊富な保育士を配置してほしいという要望があるが、経験年数が10年を超える保育士の配置予定はどの程度想定しているか。

【C】私どもの法人には経験年数が10年を超える保育士は多くいない。現時点で、一担任として10年を超える保育士を何名配置するという約束はできないが、それなりに経験のある職員を配置させていただきたいと考えている。

【オ】引継ぎ面についてお伺いしたい。提案にある引継ぎ期間の長さや頻度は、これまでの実績から提案しているという理解でよいか。

【C】来年4月から、もう1園、別の指定管理園を受けることが決まっている都合上、池袋第三保育園の引継ぎに十分な人員を配置できるという約束は難しい。確かに、他園の引継ぎ実績に比べるとかなり少ない体制となっており、申し訳ないと感じている。

【オ】事情により、今までの実績より人員配置が少なめであるということは理解したが、これで十分な引継ぎができるという理解でよいか。

【C】先ほど述べたことが正直なところであるが、現時点で約束ができるのはこの人員配置であり、提示以上のことができるよう努力はしたい。

【イ】園長候補が決まっているのか伺いたい。

【C】決まっていない。

【イ】医療的ケア児の受入れ等についてはどのように考えているのか伺いたい。

【C】法人内での実績はない。

【イ】視察先の園庭のように、池袋第三保育園の園庭についても将来的に充実したいと考えているのか伺いたい。

【C】近隣の理解を得ながら、将来的には園庭で子どもが伸び伸びと遊べるような園庭にしたいという思いはある。

【ア】乳児クラスの育児担当制について伺いたい。毎日、子ども一人ひとりで食べる順番などが決まっているのか。日によって順番を変えたりはしないのか。

【C】順番は決まっており、日によって変えることはない。クラス全体のバランスをみて、個別対応ではなく、全体としての対応を変える。

【ア】子ども一人ひとりの欲求よりは、全体を優先するということか。

【C】基本的にはその子ども一人ひとりに丁寧に合わせてものを取り入れるが、見通しをもつ

て生活をしているので、そこを崩すことはない。

【ア】視察時に0歳児クラスの子どもが声を出していても保育士が応答していなかったように思われるが何か理由があったのか。

【C】職員の緊張があったからかもしれない。まずは、子どもをしっかりと見守って、返事をしていきたいと考えており、必要以上に声をかけることはしていない。

④ 第二次審査審議 及び ⑤ 評定及び審査講評
＜評定結果の取りまとめと結果概要を説明＞

【ア】3法人の評定に異議はないか。

【イ～オ】異議なし。

【ア】池袋第三保育園を運営する事業者としてふさわしいかどうかを審議する。第一回からの全体講評と一次審査を通過した3法人の講評について御意見を伺いたい。各委員、講評をお願いします。

【エ】A・B・C法人の各プレゼンをみられてよかった。B法人については、引継ぎを非常に大切にしてほしいという地元の要望にもかかわらず3か月と短かったり、プレゼンの内容に齟齬があったように感じた。また、C法人は社会福祉法人で安定していると思われたが、質疑のやり取りをしていて不安を感じたところ。A法人は、全体として評価が高かった。

【ウ】A・B・C法人の審査結果についてはこのとおりで異議はない。本日、書面審査だけではなく、プレゼン審査の重要性を痛感した。A法人は提案書どおりのプレゼンであったが、B・C法人は質疑を聞いていて不安を覚えた。B法人は、質疑の中で、池袋第三保育園を引継ぎ、さらに質を高めていくことが出来るのか、不安を覚えた。C法人は、プレゼンと質疑応答を通して、保育園をお任せするには不安が大きいと感じた。

【オ】2人の委員と同じ意見である。C法人は、プレゼンの質疑の中で、円滑な引継ぎについて回答に窮する場面もあった。また、A法人は、安心して任せられると判断した。

【イ】3人の委員と同じ意見である。A法人のプレゼンは十分に準備され、豊島区の要望をよく理解して、対策が練られていた。選定された場合には、継続的な指導等が必要であり、その旨の付帯意見をお願いしたい。C法人は、引継ぎに関し、次年度、他の指定管理園の受託が決定しており、そちらを優先しているように感じられたことが非常に残念であった。

【ア】C法人のプレゼンで、引継ぎ面の不安を感じたところ。また、保育面においても、育児担当制で一人一人の子どもを大切にしているという発言があったが、実際には子どものその日の生活ではなく、順番などの見通しを大事にしているところがあり、柔軟性に欠けているように見受けられたことが不安要素であり、残念でもあった。A法人は、運営面や人員配置は大丈夫だと思われる。池袋第三保育園をしっかりと見て学びながら引き継いでもらいたい。

審 議 経 過

No. 7

<p>また、区に対する要望として、引継ぎに当たり、区の考え方を運営予定事業者にしっかり伝え、全てを当該事業者任せではなく、引継ぎの途中やその後も保育の質の担保・向上に対する支援をお願いしたいと考えている。</p> <p>これにより、全委員から講評いただいたが、その他、答申書の経過や付帯事項について追加すべき事項はないか。</p> <p>【イ～オ】＜意見なし＞</p> <p>【ア】では、事務局はこの講評結果を基に答申書を完成させてください。後日、事務局は取りまとめた答申書をメール等で各委員に送付いただき、各委員、改めての意見がなくなったところで、諮問第1号の池袋第三保育園運営事業者選定者に対する答申書の完成とする。</p> <p>(2) 池袋第三保育園事業者選定の決定</p> <p>① 答申案の作成 及び ② 区長への答申伝達</p> <p>＜事務局から配布資料及び今後の手続きについて説明＞</p> <p>3 閉会</p>
--

会議の結果	<ul style="list-style-type: none"> ・運営予定事業者は、第一次審査・第二次審査の評定において総合点で最高点を獲得したA法人（株式会社 あしたばマインド）に決定する。 ・答申の付帯意見及び審査講評については、審査会での意見を基に事務局で案を作成し、後日内容を確認いただいた上で、区長答申を行う。
提出された資料	<p>資料1 次第 ※1</p> <p>資料2-1 保護者からの要望等 ※2</p> <p>資料2-2 既存施設の視察結果 ※1</p> <p>資料2-3 日常の保育場面映像データ ※1</p> <p>資料3 プレゼン資料 ※2</p> <p>資料4 第二次審査評定表 ※1</p> <p>資料5 答申（素案） ※2</p> <p>参考資料1 民間保育所事業者選定審査会（池袋第三保育園）委員名簿 ※1</p> <p>参考資料2 池袋第三保育園_運営事業者選定審査基準 ※1</p> <p>※1 事前配布等 ※2 当日配布</p>